

「刊行に当たつて」

”明日のTOKYO“作文コンクールは、一般財団法人東京都人材支援事業団が実施する公益事業の一環として、都内在住又は在学の中学生を対象に毎年実施しており、三十四回目を迎えました。

今回は、「健康で活力に満ちた生活をするために私にできること」というテーマで募集を行つたところ、三、四〇七編と多くの応募をいただきました。

昨年は、三十四年ぶりに東京で世界陸上競技選手権大会が開催されたほか、日本で初めて夏季デフリンピック競技大会が開催され、東京は大きく賑わいました。東京都でも、誰もがスポーツを楽しむ、世界に誇れるスポーツ拠点に発展することを目指に掲げ、様々な取組を行つています。授業や部活動等で日頃からスポーツをする機会の多い中学生に、生涯にわたり健康を保持増進し、活力に満ちた生活を送るために重要なことを考えるきっかけにして欲しいという趣旨のもと、今回のテーマを設定しました。

今回のコンクールでは、皆さんのが、スポーツとの様々な関わり、自身の生活習慣、さらには家族・友人等との日々の生活を振り返りながら、健康で活力に満ちた生活を送るために自分にできることを深く考え表現していることに、大変感心しました。この作文を書くにあたつて考えたことを、ぜひ今後の生活においても実践していただきたいと思います。

この作品集は、皆さんから寄せられた数多くの素晴らしい作品の中から、受賞された二十一編の作品を掲載したものです。これらの感性豊かな作品を、都民の方々にご覧いただくことで、より多くの方に、スポーツの魅力や、生活習慣の大切さを感じていただければと思います。そして、これからも、都民一人ひとりが輝き、活力を生み続ける東京にしていくために、”明日のTOKYO“を担う中学生の皆さんが健やかに成長し、ご活躍いただけることを心から願っています。

結びに、この作文コンクールの実施に当たり、ご尽力いただきました、東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等學校協会をはじめ、多くの関係者の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

令和八年一月

一般財団法人東京都人材支援事業団理事長 武市 敬